

記者発表（発表・資料配布）			
月／日 （曜日）	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 （担当）
9／25 （金）	森林動物研究センター 環境創造局自然環境課	0795-80-5516 078-362-3463	次長 今里 卓 課長 中谷 康彦

ドングリ類の豊凶調査結果と ツキノワグマ出没注意喚起について

森林動物研究センターが兵庫県下の堅果類（ドングリ類）豊凶調査を行ったところ、**今秋、山のドングリ類の実りは、**全体としては**豊作であることが判明**しました。（資料1参照）

そのため、**今秋のクマの出没は比較的穏やかになると考えられます。**しかし、ドングリの実りには地域差があり、**地域によっては今後、冬眠前のクマが餌を求めて、人里へ出没する可能性も**あります。

また、推定生息数の増加等に伴い、恒常的に出没が増加傾向にあります。ハイキングや登山、キノコ採集などで**クマの生息地域に出かける時はもちろん、集落周辺においてもクマの被害にあわないように十分な注意**をお願いします。

1 山の実りの状況（速報）

ブナ	コナラ	ミズナラ	3種全体
並上	豊	並上	豊

2 目撃・痕跡件数

- (1) 県民等から報告された平成27年度のクマの目撃・痕跡情報は、8月31日現在で278件となっている。過去3ケ年度において、8月31日までの累計数で見ると、最も少なくなっている（H26年度は8月末：378件、H25年度8月末：309件、H24年度8月末：330件）。（資料2参照）しかし、推定生息数の増加等により年間の目撃・痕跡情報は近年増加傾向となっている。

3 本年度の被害発生状況

- (1) 8月以降、但馬地域を中心に果樹園や集落のカキなどの食害が発生している。地域によっては集落内徘徊なども発生している。
- (2) 現時点では人身被害は発生していない。

4 対応

- (1) クマの出没地域では、
- ① 人里であっても、夕方から朝の時間帯の外出には注意する
 - ② 不要なカキの木の伐採や、カキの実の早めの収穫
 - ③ 果樹園は電気柵を設置する
 - ④ クマを誘き寄せる生ごみを屋外に置かない
- などの対策が重要。
- (2) ハイキングなどでクマの生息する山に入るときは音響物（ラジオ・鈴等）を携帯し、出会い頭の遭遇を避けることが重要。（資料3参照）
- (3) 大部分のクマが冬眠に入る12月の中旬ごろまで、十分な注意が必要。
- (4) クマを目撃したり、食害跡、足跡、爪痕などを見つけた場合は、市役所・町役場へ連絡し、早期の対策と地域住民等への周知をお願いします。

添付資料	資料1 堅果類豊凶調査結果概要（速報）
	資料2 ツキノワグマの目撃・痕跡状況（H27.9.17現在）
	資料3 ツキノワグマの被害防止パンフレット